

学校の様子・子供の様子

*** 「キャリアに拓く」 ***

10月末に今年度の研究大会を終え、各学年では今年度の「キャリアに拓く」の活動が始まりました。今年度4年目を迎えるこの事業は、附属小学校に通学する児童が、大学の各研究機関や施設を訪問し、大学の魅力を感じると共に、そこで働いておられる方の思いを聞き取ることで、自分のこれからのキャリア形成に役立てる糧となるように考え、計画し実施しているものです。

下記のように訪問し学んだことを生かして、各学年がまとめを工夫していきます。2月の「実りの学校」は、発表の中に取組や感想を盛り込んだものになると思います。

*** 1年 地域学部探検 ***

1年生は、10月～11月にかけて、生活科の学習で、秋の自然を見つけに、大学の構内に探検へ行きました。紅葉する木々を見たり、木の実を拾ったりして、移り変わる季節を感じました。29日（金）には、地域学部の4名の先生方の研究室にうかがい、どのような研究をしておられるかお話を聞いたり体験活動をしたりして、大学の先生方や施設を活用した「知への探究心」の素地を養いたいと考えています。



*** 2年 大学施設探検 ***

2年生は、9月に1回目の大学探検を行いました。2回目は11月下旬から12月中旬にかけて地域学部の6つの研究室と大学附属図書館、大学会館生活協同組合の食堂・ショップの8つの中から、各自がより詳しく探検したいところを1つ選んで出かけます。早速、2グループが生協の食堂と山下校長先生の研究室をそれぞれ訪ねました。見学させていただいたり、たくさんの質問に答えていただいたりして有意義な時間を過ごしました。



*** 3年 湖山池探検 ***

11月1日、青島にて、附属中学校の小玉芳敬校長先生から湖山池の変化について講義いただきました。アノが発生した時期、汽水化によって湖山池の環境を整えようとした時期と住む生き物の変化などについて教わりました。子供たちは、人々の意図や環境、生態などについて熱心に聞き、考えました。また、古くから伝わる「石がま漁」について教わり、湖山池に対する関心をさらに高めました。



*** 4年 乾燥地研究センター ***

4年生は、11月25日に乾燥地研究センターで世界の砂漠化を防ぐ研究について山中教授から話を聞きました。世界中にある多様な乾燥地について詳しく説明を聞き、センターでは、砂漠が広がるのを防ぐ研究を日本で唯一世界に発信し貢献しているという仕事ぶりを学ばせてもらいました。その後、降雨実験を見せていただき、降雨による地面の水食について間近で観察し、研究について深く知ることができました。



*** EM 活性液活用事業 ***

11月18日、4・5年生の各学級から代表を出し、EM活性液をプールに注ぎました。

EM活性液を使用することによって、プールの底の泥やぬめりが減少し、プール掃除が安全に作業できること、有用な微生物を利用した浄化であるため環境に優しい作業になることなど、多くの利点が挙げられます。

4・5年生には、微生物を活性化させるために米のとぎ汁の準備をお願いし、ポリタンクで培養するなど準備を進めてきました。自分たちが準備をしていくことで、来年度のプール掃除で効果を感じながら活動してくれることと思います。



*** HP リニューアル ***

これまで、学校ホームページの運用について、学校評価でご意見をいただいていた。春より、学校ホームページのあり方について検討をしてくれており、この度リニューアルを進めてきておりました。

12月上旬に新しい学校ホームページになるよう準備をしています。これまで月1回更新でしたが、今後は必要に応じて更新ができるようになります。また、懇話会の活動を公開するページも新規に作成しました。

是非、新しい学校ホームページをご覧ください。学校からの情報を確認したり、各種様式等のデータをご利用したりしていただきたいと思います。

